

第9回土砂災害に関するシンポジウムの開催と論文募集

近年、局地的な集中豪雨や地震の発生増加に伴い、甚大な土砂災害が頻発しています。2011年3月東日本大震災、同年9月台風12号災害、2012年九州北部豪雨災害、2013年伊豆大島土石流災害、2014年広島土石流災害、2015年関東・東北豪雨災害、2016年熊本地震、2017年九州北部豪雨災害など豪雨・地震災害が頻発し、それらに伴って発生した土砂災害により、多くの人的被害が発生しています。このような状況の中、土砂災害防止法が2015年に改正され、土砂災害の危険性のある区域の明示や避難体制に関する一層の充実・強化が図られることとなりました。そのため、土砂災害警戒区域の指定地域では警戒避難体制の整備などソフト対策の充実が迫られており、土砂災害の予知・予測の精度向上が急務となっています。

土木学会西部支部では、2002年度から、「土砂災害に関するシンポジウム」を隔年で開催し、土砂災害の危険度評価や予知・予測法などについて広範な分野からの参加を募り、学際的見地から発表・討議を行って参りました。2016年度は、全国から、44編の研究発表と約200名の研究者・技術者・防災行政担当者の参加を得て発表・討議を行いました。従いまして、2018年度におきましても、砂防、地盤、河川、道路、水文・気象、地形・地質、自然災害科学など広範な分野からの参加を募りシンポジウムを開催することといたしました。

奮ってご投稿、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

(実行委員長 橋本晴行)

記

- 主催 公益社団法人土木学会西部支部
 - 後援 公益社団法人砂防学会、公益社団法人地盤工学会、公益社団法人日本地すべり学会、一般社団法人日本応用地質学会、一般社団法人水文・水資源学会、日本自然災害学会、公益社団法人日本技術士会九州本部、一般社団法人建設コンサルタント協会九州支部
 - 開催期日 2018年9月18日(火)、19日(水)、20日(木)
(採択論文数により20日はキャンセルの可能性あります)
 - 開催場所 九州大学医学部百年講堂
(〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号、電話092-642-6257)
 - 論文投稿締切 **2018年5月25日(金)**、査読結果の通知 6月25日(月)～7月20日(金)
 - 論文投稿料 無料
 - 参加費 5,000円(会員、非会員を問いません。論文集代2,000円を含みます。)
 - 論文課題：
 - ① 豪雨・地震に起因して発生した崩壊、土石流、地すべり、天然ダム等に関する調査研究
 - ② 斜面の監視システム、モニタリング技術に関する調査研究
 - ③ 土砂災害の警戒避難、情報伝達、危機管理などソフト対策に関する調査研究
 - ④ 土砂災害を引き起こした豪雨の気象特性に関する調査研究
 - ⑤ 砂防えん堤などのハード対策に関する調査研究
 - ⑥ 土砂・流木の生産・流出・氾濫に関する調査研究
 - ⑦ 土砂の侵食・流動・堆積に関する調査研究
 - ⑧ 土砂災害の数値シミュレーションに関する研究
 - ⑨ ダム堆砂、流域の土砂動態、総合土砂管理に関する調査研究
 - ⑩ その他、土砂災害、総合土砂管理に関する調査研究
- ※災害報告、資料解析、現地調査など現場からの報告も歓迎します。
- 論文体裁 土砂災害に関するシンポジウムホームページに掲載しています。
 - 査読 全文査読を行います(使用言語：日本語もしくは英語)。
 - 発表形式 口頭発表(使用言語：日本語もしくは英語)。
 - 論文提出方法 以下のURLにアクセスし、論文投稿願います。
https://www.ac-research.jp/jsce/landslide_disaster/9/
 - 問い合わせ先 山口大学 鈴木素之(E-mail: msuzuki@yamaguchi-u.ac.jp)または福岡教育大学 黒木貴一(E-mail: kuroki0@fukuoka-edu.ac.jp)
 - 参加方法など 土砂災害に関するシンポジウムホームページに掲載予定。
 - 土砂災害に関するシンポジウムホームページ http://committees.jsce.or.jp/seibu_s01/